

講演

テーマ：「鳥取県西部地区の産業振興・活性化を目指して」

講師：平井知事

日頃は、鳥取県の中小企業の産業の育成に多大なご尽力を頂いておりますことを、心から感謝申し上げます。

本日は正副会長と併せて、青年部、女性部の皆様にもご出席いただき、皆様こそがこれから、鳥取県西部の発展の成否を握る皆様だと心に強く思っています。

本当に今日はこのような機会を頂戴し心から感謝します。

世界経済は、特にアメリカの金融バブルがはじけました。もともとはサブプライムローンがはじけたことに端を発し、世界中がおかしくなってきたと思います。アメリカの株価が下がる。また、名だたる金融機関が次々と墜落していくという状況がショッキングでありました。日本企業も三菱東京UFJなどそこに割って入って、少し立て直しにあずかるかとしている矢先から、どんどん火の手が世界中へ広がっていったわけです。今では、アイスランドがデフォルトを出そうか、国ごとつぶれようかといったようになってきています。金融機関などもドイツ、ベネルクス3国地域などもおかしくなっています。アジアも韓国など経済成長が著しかったですが、若干ここに来て、金融資産が下がってきています。

日本も株が下がってきています。昨日も7,000円を切って、その後反騰して何とか一息ついたと思いますが、現在7,600円位の水準であります。ちょっと前でしたら7,600円は17,600円のことだった。いつの間にか1万円が消えまして7,600円になってしまいました。この様に、世の中の展開が非常に激しい状況であります。私は今が一つの正念場になって来るんじゃないかと思っています。

今日、お集まりの皆様が地域経済の担い手ですが、皆様がふんばり我々県や市町村等公的セクターや金融機関が皆さんを支えることで、この時期を乗り切らなければならないと思います。ここに来て、国の政治の様子も変わって参りまして、麻生総理は就任をして補正予算を上げたらすぐにも解散……が、いつの間にか変わり、だいぶ遠のいたかなという感じであります。それも私はしょうがないと思います。今は政局がらみで西だ東だ、と分かれている状況じゃないと思います。

むしろ政治家の皆さんが知恵を出し合ってどうやって乗り切るかと考えていかなければならない時かと思えます。アメリカはホワイトハウスにブッシュ大統領がオバマ、マケイン両大統領候補を呼び、金融立て直しについて話し合っている構図がありました。日本はいまだ党首会談すらやっていない。しっかりとこの国を立て直す大事な時期なんだとやっていただきたい。私はこの機会に舵をとって頂きたい。麻生総理になって風向きが変わってきたと歓迎しています。小泉構造改革の時代から大きくハンドルを切っているなあという気がします。

従来ですと財政再建を最優先し経済についても効率優先でありまして、いわゆる新自由主義といいますが、強いものが勝つことで強い経済になっていく。これは学校でも習った理屈ですから、正しいものは正しいと思いますが、片方で、地方は切り捨てられいろんな歪みが出てきています。もうこの辺で目をまさない、と思った時に、この度のアメリカ発国際金融危機が発生しました。今の状況は、一部の投資家の人たち

が今日は石油だ、今度は穀物だ、株だとマネーを世界中に回して金儲けをしていた訳です。

我々日本を考えてみると、比較的状态がいいんじゃないかと言われ、今日も円高の原因となり 94 円位になっています。実態経済は悪くなっていくと思いますが、少なくとも、ものづくりの技術だとか、食についての安全性だとか、味に対する優位性などがあります。日本はこの様に結構強みがある。だからこそ円高の状況になっています。私たちはこの日本の強みを再認識して、ここで勝負に出るという事にならなければならないと思います。確かに経済の状況は良くないが、

ニュースを見れば、石油の値段がガタガタに下がってきています。かつて 1 バレル 140 ドル台だったものが今、60 ドル、70 ドルに落ちています。鉄鉱石の値段も今下がってきています。ですから、ものづくりの環境としてはいい状況も生まれ、海外からの輸入食糧品に対する嫌悪感があるので、産業振興の面でも農林水産業にいい面も見えてきています。

いい所と悪い所と両方が今、同時に出ています。我々も身を引き締めて今こそガンバロウと思いますが、その片方で我々の強みを生かした戦略を展開していかなければなりません。ここでうまくテイクオフできると、私達は鳥取県の経済を変えて行き、日本の中で、あるいは世界の中で一定の地位を占めることができると思います。

ただ経済の状況がおもわしくないのも事実でありまして、私達はねじり鉢巻をして対策を考えました。9 月の県議会でも議論はしましたし、国の方でも補正予算が成立しました。その成果をいち早く地域の方で反映させて頂きまして、ご利用頂きたいと思います。これから心配なのは銀行が弱ってきて、それで資金繰りがおぼつかなくなって来るのではないかと。1 つのポイントとしてファイナンスをしっかりしないとイケないと考えます。是非、商工団体、商工会の皆様にも現場として、窓口として頑張りたいと思うし、企業も活用して力を蓄えて頂きたい。10 月 31 日から新しい融資制度を一部スタートしようと考えています。それは中小企業の皆様向けで、たとえば借換えを増やすとか、運転資金を借り易くするとかです。国の方もセーフティネットの限定がない様、業種が広がって、その面では使いやすくなると考えます。併せて、国土交通省の系列では建設事業者の方が、工事代金を担保に融資をする。こういう制度がスタートすることになります。この様にして皆様を下支えする役割をさせて頂きたいと考えています。

併せて金融機関の皆様にもご理解を頂かねばならない。金融機関の存在理由は、地域の産業を支える為にあるわけです。

鳥取県西部はこれから伸びてゆくポテンシャルでいくつかしっかりとした物を持っていると思います。それはストーリーが見えてき始めたかなと思います。一つは県西部と中海宍道湖をはさんで松江、安来、出雲と合わせた圏域が、かつて弥生の昔に栄えた時代のように甦ってきます。もう一度ここに経済と文化をもたらしてくる。これが次の道筋ではないか。そして今、皆様が心配しながら進んでいますのが対岸航路のプロジェクトです。境港からトンへ、ウラジオストックへ行く訳です。今度、沿海地方のゴルフ協会の皆さんが大山界隈へやってきます。鳥取県でゴルフをやってみたい、観光客を呼び込めるかどうか自分たちも見てみたいというプロジェクトがあります。さらにあちらの流通業者も鳥取県に来たいと、これは食品関係・電気製品とか鳥取の地場産品を自分達で扱えないだろうかという思いがあるそうです。

トンへはソウルまで 4 時間で行けるそうで、プサンとは違う別の物流の可能性もあります。鳥取県の水産

会社が韓国の水産会社と一緒に、向こうで加工場を作ってこちらに輸入する計画も現実のものとなっています。経済が環日本海を取り囲む地域で、その玄関口として鳥取県西部が丁度手の平を差し伸べたような形で伸びていく可能性があるストーリー。これが一つ見えてきています。

東京にアンテナショップを出して、大変繁盛している。1階の物販店は月商1千万円、2階レストランは月商600～700万円売上があります。予想以上に順調な滑り出しをしています。リピーターが出てきています。何が1番売れているかといえば県西部のもので、例えば大山の牛乳、ミルクの里で売っているソフトクリーム、鬼太郎のカレーが売れています。鳥取県のもものは支持されていると思いました。本物のものを鳥取県が作っている。食べ物にしろ、工芸品にもイメージが都会にはある。こういったことを大事にすれば鳥取ブランドで売り込める。大山ブランドは大賛成です。大山と名のついたブランドがだんだん出来上がっていく。商品と大山の良いイメージが掛け合わせていく。

自然とか歴史とか見直した観光ルートを開発していく。本日、実は近藤家住宅へ行ったんですが、ここはたたら製鉄の歴史がある。この辺には日南にも鉱山跡があり、観光で使えないかと話があります。また、江尾のこだいじ踊り、こうしたものに都会から呼び込み、祭りを感じてもらおうプロジェクトも始まっています。今、建設業は厄介な状況だと思っています。限界があるので、業態転換をすることも必要であります。農林水産業に転換をする会社もあります。私どもも応援していきたいと思っています。日南で自然薯作り、江府でブルーベリーを作ったり、そういった転換をしています。ブルーベリーは世界的に有名なレストランに納めていると聞いてびっくりしました。やはり自信を持っていけばいけるのではないかと思います。地域の素材を活かしておいしいものを食べれるようにしよう。地域のマグロを活かしてラーメンを作ろうとしている方もおられます。

今、ANAでは鳥取県西部が食材の宝庫だということを機内でPRしています。こういうものを十分に使いこなしているかどうかです。これを使いこなすことによって私達は産業を興していくことができます。農商工連携というのをやっとな国が始めました。

この度、9月補正で25億円農工商連携で計上しています。こういうプロジェクトを立ち上げていきやすい環境に今あるのかも知れませんが、鳥取県西部こそ日本の新しい産業創造の見本になるような所にしていきたい。そういう意味での活発な論議を皆様から頂戴したいし、ここに出てきた背景を私達は育てていって、暗雲の漂っている経済を鳥取からはね返していけるようになりたいものと考えています。

最後になりますが、皆様方の益々の発展をお祈り申し上げ、私の方の話とさせていただきます。どうも有り難うございました。